

代表あいさつ

コロナ禍のために事業等に影響を受けておられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

季刊だった「つうしん」が年報になってから2号目の発行となりました。昨年1年間、会員専用フェイスブックと会員メーリングリストを中心に情報交換や会員交流をしてきました。また、イベントはzoomでのおしゃべり会が中心になりました。zoomイベントは気軽に開催できるのがメリットですが、リアルに比べると、何か少し距離感がありますね。安心でホットな交流の場をどうやってつくるか、これからも模索していきたいと思います。

みなさんからも、働く親同士で共有したいことや親の会の活動についてのご意見などを、遠慮なく発信していただければと思います。本年も保育園を考える親の会をよろしくお願いいたします。

(代表 普光院 亜紀)

副代表あいさつ

2020年は新型コロナウィルスの影響で、まさかまさかの連続でした。突然の学校休校に始まり、保育園登園自粛など色々ありましたが、家族皆元気で笑って過ごせていることのありがたさを実感した1年でもありました。

一方、子ども達にはたくさんの我慢を強いたことと思います。数年後、数十年後、子ども達はコロナ禍をどんな風に振り返るのか、またどんな影響を及ぼすのか注視していくのが大人の役目と感じている今日この頃です。

2021年度も皆さんと共に子どもの成長を見守っていかれたらと考えています。引き続きよろしくお願いいたします。(副代表 渡邊寛子)

保育園を考える親の会の URL・アカウント

●ホームページ

<http://hoikuoyanokai.com/>

●フェイスブック公式アカウント

@hoikuenoyanokai

●ツイッター公式アカウント

@hoik_oyanokai

●事務局への連絡 oyanokai@v7.com



目次

令和2年度 会計報告 …2

カンパのお願い …3

「100都市保育力充実度チェック」事業収支 …3

2020年 活動報告 …3-4

2020年 相談対応のご報告 …4

保育園を考える親の会

私たちの活動 保育園・子育てガイド トピックス 声じん音・言葉 参加する 協賛の会社等

だれでも、いつでも入れて、安心して通える保育園を願うのは、きつと贅沢なんかじゃない。

自治体独自アンケート
100都市保育力
充実度チェック

100都市保育力充実度チェック
保育園を考える親の会が毎年実施する独自調査。認可へ
の入りをやす、園の保育率は公開データ収録。

園児さんにとっても重要
保育園選びの
チェックポイント

園の公開「保育園選びのチェックポイント」を公開中！
保育園見学に行く前に参考にしてみてください。

働く親のための
お役立ちガイド

働く親のためのお役立ちガイド
保育園の対応や疑問があった場合や育児に関する会社
の交渉に役立つ法令や制度を紹介しています。

令和2年度 会計報告

自. 令和2年1月1日 至. 令和2年12月31日

保育園を考える親の会

収入の部

(単位:円)

科目	摘要	決算金額
前年度繰越金		1,378,878
カンパ	会員内外からのカンパ	273,000
原稿料(「ことば」連載原稿料)	会員による全私保連「ことば」連載原稿のカンパ	27,000
共催等の講師謝礼	ゆったりーの共催 等	50,000
当期収入合計		(350,000)
収入合計		1,728,878

注1

注2

支出の部

(単位:円)

科目	摘要	決算金額
つうしん通信費	年報つうしん	46,904
つうしん印刷費	年報つうしん	7,430
ホームページ・メールリングリスト費用	サーバ等利用料	49,233
充実度チェック調査費	「充実度チェック」調査通信費	14,000
雑費	消耗品など	5,714
当期支出合計		(123,281)
次年度繰越金		1,605,597
支出合計		1,728,878

注3

注4

次年度繰越金内訳	
現金	116,727
振替貯金	1,488,868

(注1) 2018年度までは会員から年会費をいただいて運営していましたが、2019年度より年会費を廃止し、会員内外からのカンパを主たる収入源とする活動に変更しました。

(注2) 全国私立保育園連盟機関紙に会員が連載している「ことば」の原稿料をカンパしていただきました。

(注3) 「100都市保育力充実度チェック」の調査費用(通信費)を負担しました。制作・頒布の事業は代表の個人事業で行い収支を別会計としました。(3ページ参照)。

(注4) コロナ禍のため、例年かかっていたイベント会場費用、保育費用、印刷費用などがかからず、支出が非常に少なくなりました。今後、コロナが収束したときには、また集まれるイベントを開催する予定です。

【本年度会計報告について】

年会費制を廃止し、活動が成り立つかどうか不安をかかえてのスタートでしたが、思いがけず、コロナ禍のためオンラインでの活動が中心になり、繰越金が増えるという結果になりました。この間も、保育園を考える親の会にカンパをいただき、ご支援をいただいた皆様に、深く御礼を申し上げます。いただいた貴重なお金は、今後の活動のために活用してまいりたいと思います。

また、今後も活動を支えてくださる皆様には、引き続き、イベント等へのご参加やカンパ等でご協力をいただければありがたく存じます。

カンパのお願い

保育園を考える親の会は、皆さまのカンパを資金に、ボランティアスタッフの力で運営しています。会計報告、活動報告をご覧のうえ、今後の活動を応援して下さる方は、ぜひともカンパをお願いします。カンパは同封の払込票をご利用いただくか、ネットバンキングで下記までご入金ください。

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019 ■預金種目 当座
■店名 〇一九 店（ゼロイチキユウ店）
■口座番号 0571820 ■名義 ホイクエンヲカンガエルオヤノカイ

「100 都市保育力充実度チェック」

事業収支

保育園を考える親の会は、毎年、100 の市区の保育状況について調査し、結果を「100 都市保育力充実度チェック」として発表しています。その冊子発行および頒布の事業を、代表・普光院の個人事業の中で行いましたので、ご報告します。

2020 年度の収支は昨年同様、ほぼ均衡しました。資金不足になっても発行を継続できるように、繰越金を多めに残しています。データ利用者協力費をいただいた日経 DUAL 様、中央出版様、東洋経済新報社様に感謝申し上げます。

本冊子は、ホームページにて頒布しています。

令和2年度 充実度事業収支報告

自. 令和2年1月1日 至. 令和2年12月31日

収入の部 (単位:円)	
科目	決算金額
前年度繰越金	460,742
事業収益	(469,292)
冊子売上(送料込み)	281,292
データ利用者協力費	188,000
当期収入合計	(469,292)
収入合計	930,034

支出の部 (単位:円)	
科目	決算金額
事業費	(460,212)
冊子印刷・製本費	172,040
付録その他印刷代	3,440
調査員謝礼	133,000
広告宣伝費	10,000
冊子送料	45,732
販売委託費	18,000
販売促進スタッフ謝礼	78,000
当期支出合計	(460,212)
次年度繰越金	469,822
支出合計	930,034

2020 年 活動報告

1月1日 副代表に渡邊寛子さん就任。

1月8日 「幼児教育無償化に関する保護者アンケート」の結果をHPにて公開。回答数 115。8割以上が現行の幼児教育無償化政策に否定的、9割以上が幼児教育無償化の財源を保育士の処遇改善につかってほしいと回答。

1月19日 スタッフ新年会

1月24日 「保育所等の保育の質の確保・向上に関する検討会」に代表が出席。

1月28日 miraco メンバー・保育園を考える親の会有志と全国私立保育園連盟との「公定価格」学習会。

3月8日 「はじめての保育園@新宿」コロナ感染拡大のため、オンライン開催。約 30 アカウントが参加。

4月3日 「年報 2020」(発行日 4月1日)を送。コロナ感染拡大のため、発送作業&交流会を断念し、代表の事務所で完了。

4月4日 オンラインおしゃべり会「雑談の為のゆる〜いイベント」

5月下旬 全国認定こども園協会の「新型コロナウイルス感染症対策に係るアンケート調査」に協力

5月19日・6月26日 「保育所等の保育の質の確保・向上に関する検討会」に代表が出席。

6月28日 会員によるオンラインおしゃべり会「いま保育園、学童保育、学校について話そう」を開催。参加者 22 人。コロナの影響がある中で起きている園や学校でのリアルな情報を交換することができた。

8月6日 代表 wiwiw のオンライン保活セミナーで講演。参加者 150 人。

8月28日 「子どもの預かりサービスの在り方に関する

る専門委員会」に代表が出席。(11月・12月にも開催)

10月1日 「企業主導型保育事業の円滑な実施に向けた検討委員会 報告」の指摘事項の実施状況について、内閣府子ども子育て本部企業指導型保育事業担当宛てに質問状を提出(メール)。

10月4日 「はじめての保育園 in 横浜」を男女共同参画センター横浜北との共催、青葉区役所の協力で開催(オンライン)。参加者 49 アカウント。一般参加者約 30 人。

10月7日 2020 年度版「100 都市保育力充実度チェック」(発行日 10 月 6 日)を発行。厚労省記者会で会見。記者約 20 人が参加。代表らが待機児童数のカウント方法を修正と地域ニーズの正しい把握、保育士確保、保育の質向上などを求めた。「待機児童は国公表の 12.5 倍」などが毎日新聞ニュースサイトで速報された。同日、代表、NHKラジオに出演。「どうするコロナ禍の保育」

10月8日 連合三多摩ブロック地域政策・制度討論集会で代表が講演。

11月13日 副代表、朝日新聞のインタビューコーナーに登場。「コロナ禍で保育園は何を問われ、何か変わったのか」

12月19日 オンラインイベント「小1のカベに勝つ」。参加者 17 人。

このほか、代表・副代表・事務局は自治体の委員会等の委員として活動。研修講師等も務めました。



10月7日「100 都市保育力充実度チェック」発表記者会見

保育園を考える親の会 相談対応のご報告

保育園を考える親の会では、ホームページや電話などで、保育園に関する相談を、代表が無償で受け付けています。2020 年中の相談対応の内容は次のとおりでした。

■年間相談件数 34 件

(フォーム 31 件、電話 2 件、その他 1 件)

■内容(重複カウント有り)

一方的な運営・施設長暴言 8 件
保育士退職 6 件
コロナ関連 5 件
不適切保育 3 件
ケガ対応 3 件
審査請求 2 件
発達障害決めつけ 2 件
退園強要 2 件
持ち物取り違え 2 件

その他 1 件ずつ：

不衛生・不健康
子ども同士のトラブル
突然の閉園
アレルギー対応
不正な運営
保育料のトラブル
契約内容への不安
自治体の入園事務
待機児童問題
労働問題

■施設の種類

公立保育所 1 件
私立保育所 8 件
認定こども園 7 件
小規模保育 2 件
認証保育所 1 件
企業主導型 4 件
その他の認可外 1 件
不明 9 件
自治体に対するもの 4 件

■相談者の地域

東京都 8 件
神奈川県 5 件
大阪府 3 件

その他 1 件ずつ：

群馬県、埼玉県、千葉県、京都府、兵庫県、岡山県、広島県、福岡県、長崎県
不明 9 件

■相談時期

1 月 2 件
2 月 5 件
3 月 7 件
4 月 4 件
5 月 1 件
6 月 4 件
7 月 0 件
8 月 1 件
9 月 0 件
10 月 7 件
11 月 2 件
12 月 1 件